

平成 29 年 12 月 吉日

内閣官房長官
菅 義 偉 殿

海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟
会長 額賀 福志郎

米海軍病院船 USNS マーシー 東京寄港予定の公表についての申し入れ（案）

『海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟』においては、平成 28 年 10 月に「パシフィック・パートナーシップ 2018」主導の米海軍病院船 USNS マーシーの東京寄港の申し入れを行い、貴殿のご理解の下、2018 年 6 月 16 日（土）に東京港（大井水産物埠頭）入港で日米政府関係者間の準備が進められてきました。

戦後 72 年、多くの国民は病院船とは何かさえ知らない中、その存在を広く国民に知らしめることは、日米同盟の深化はもちろん、海洋国日本の災害医療の未来を考える上で、大きなターニングポイントになると確信しています。また、東京オリンピック・パラリンピックを前にあらゆる災害を想定して、万全の態勢を準備していくことは、日本及び世界各国の関係者共通の思いであります。

この度、歴史上はじめて米海軍病院船が日本に入港する東京港は、東京オリンピック・パラリンピック開催エリアでもあり、日米政府にとって極めて広報効果の高い国民の関心事となります。つきましては、下記の項に沿って、マーシー 2018 年寄港予定の公表を早急をお願い申し上げます。

記

- 1、マーシー東京寄港日程の概要発表はなるべく早い時期に実施すること。
- 2、発表については、関係省庁と早急に調整を進め日米同時に図ること。
- 3、寄港時開催の歓迎イベント他、詳細は概要が固まる都度、適宜公表し、本歴史的意義を効果的にとらえ、国民の関心を高めること。

以上